

2022 年度事業計画および収支予算

(自 2022 年 1 月 1 日 至 2022 年 12 月 31 日)

1. 2022 年度事業計画

昨年度は年間を通じ新型コロナウイルス感染症の蔓延から事業活動が大きな制約を受けました。本年もその影響がしばらく続くものと思われ事業計画の予測は困難な状況にあります。しかしながら、新型コロナウイルスの重症化リスクは多少低く抑えられてきたようにも思えます。今年度は感染症蔓延の状況を注視し感染症拡大防止に努めながらこれまで実施されてきた事業の再開を図るとともに新たな事業の芽を探して行きたいと考えています。

(1) ICT 関連活動事業の継続とさらなる充実

- ・シニア情報生活アドバイザー、スマホ・タブレットマスター/アドバイザーの養成と活動支援
- ・四谷ひろばパソコン教室の運営効率化と時代変化に即したカリキュラム更新
- ・デジタルデバイドの是正に資する活動の推進

(2) 会員の健康維持・向上を図る活動の実施

- ・たかお会活動の拡充

(3) 地域の自主的な活動の継続

- ・千葉パソコンアドバイザーの会 (C-PAK)

(4) IDN 運営業務、管理体制の効率化を図る

(5) 広報活動の充実を図る

- ・ホームページの整備、機関紙ふれあい通信の発行
- ・メールマガジンの発行、Facebook ページへの投稿を通じ IDN の活動内容を広報し会員相互の情報共有を図る

2. 2022 年度収支予算

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、ニューメディア開発協会関連事業や IDN パソコンひろばなど教室での対面による講座を主体としていた事業ばかりでなくアウトドアで実施されるたかお会の活動も大きく制限されました。しかし今後は感染症蔓延の収束状況などを見ながら四谷ひろばなどでの対面による講座の再開を模索するとともに、Web ミーティングによる講座の開催で収益を確保していきます。また、高齢者に対するデジタルデバイドの是正に向けた動きがさらに活発になる見込みであり、非対面ばかりでなく対面による講座の実施などを通じて収益を確保し、会員各位に対するサービスを充実させるとともに運営、管理体制の一層の効率化による更なる経費の節減を図っていきます。

2022 年度経常収入 (会費および事業収入)	1,800 千円
2022 年度経常支出 (事業支出および管理費)	1,800 千円
2022 年度計上収支	0 千円

以上